

第23回 奥むさし駅伝競走大会

【出場結果】

実施日 : 1月26日(日) 9時スタート

コース : 東飯能駅西口前～西吾野駅前折返し～飯能市内銀座通り(きもの処かきぬま前)

総距離 : 6区間 38.8km

成績 : 1時間58分53秒 11/117位

出場者・リザルト : 1区9.9km 小林 航央 21/117位 31'05"
2区5.5km 三浦 剛 9/117位 17'24"
3区4.3km 田中 龍誠 13/117位 13'47"
4区4.5km 渡辺 瑠偉 9/117位 13'19"
5区5.2km 西沢 晃祐 18/117位 15'35"
6区9.4km 坪井 響己 3/117位 27'43"

【レポート】

今年も埼玉県飯能市で開催された第23回奥むさし駅伝競走大会に出場しました。

飯能工場の稼働していた時代から今でも飯能市近辺には当社従業員や関係者の方々が多く生活されており、大会ボランティアとしても多くのOBの方々が大会に関わっているため、チームとしても重要な大会として位置づけ、上位入賞を目標に年初からコンディションを整えてきました。

しかし、季節性のウイルスに感染した選手や故障者が続出し、入賞ラインである10位以内に目標を下方修正してレースに臨みました。



スタートの号砲を待つ1区の小林

スタート直前から強い北風が吹き始め、前半の1区～3区は向かい風、後半の4区～6区は追い風を受けてのレースとなり、選手達には気象コンディションに合わせた走りが求められました。

1区にはエースの小林を起用し、10日前に発熱のアクシデントがあり、体調面に不安を残してのレースとなりましたが、やはり序盤から足取りが重く、先頭集団から離れた位置でレースを進めると、普段のキレのある走りは影を潜めて、中盤以降もペースは上がらないまま、先頭とは約1分30秒差となる21位で2区の三浦に襷を渡す厳しいスタートとなりました。

2区を任された三浦は、強い向かい風を受ける中、序盤から次々と選手を抜き去り、中盤以降の上り坂で苦しさを見せる場面もありましたが、チームを13位に押し上げる走りを見せ、3区の田中に襷を渡しました。



1区 小林



2区 三浦

昨年も3区を走った田中ですが、得意の上りが続く区間で強い向かい風の中でも冷静にピッチを刻み、昨年よりは区間タイムを落としたものの、順位を2つ上げ10位の入賞圏内に迫る11位で4区の渡辺に襷を渡しました。

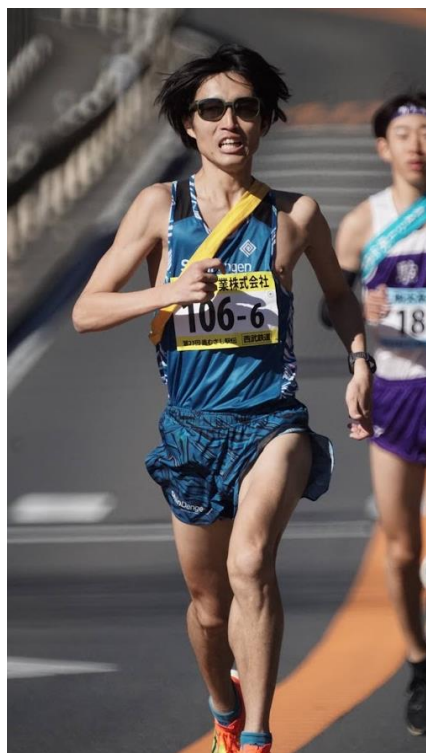
4区を任された渡辺は今季限りでの引退を表明し、奥むさし駅伝と翌週行われる埼玉県駅伝で競技生活に区切りをつけるため、今回の駅伝にかける並々ならぬ想いが感じられました。

その期待に応えるかのように、追い風を受ける下り基調のコースを颯爽と走り切り、順位は11位を維持したままでしたが、区間成績は一桁順位の好走を見せ、5区の西沢に襷を渡しました。



今季引退の渡辺！力走を見せる！！

5 区を任された西沢は万全の体調とは言えない中でしたが、11 位の順位を守り切る走りを見せ、6 区アンカーを任された坪井は、入賞ラインである 10 位以内を目指して序盤から勢いのある走りを披露し、ゴールとなる飯能銀座商店街手前では 30 秒以内に 5 位～11 位までのチームがなだれ込む混戦の中で最後まで諦めずにタイム差を詰め、個人成績としては区間 3 位の快走だったものの、惜しくもチーム順位は 11 位と目標にあと一歩届きませんでした。



区間 3 位の快走を見せた坪井



早朝から現地でのご声援を頂きました、多くの皆さまへ感謝申し上げます。

【総括】

今回の駅伝は、直前に体調不良者や怪我人が相次ぎ、何とか欠場を回避して選手総動員で臨む中で、本調子とは程遠い状態で走った 1 区の小林から流れに乗れずに前を追う苦しい展開で、大きく出遅れるレースとなりました。

しかし、その後はチーム全員が目標を目指して襷をつなぎ、入賞ラインまであと一步に迫ってゴール出来たことは、今後駅伝を戦う上で一定の収穫のあったレースだったと感じます。

翌週には埼玉県駅伝を控えますが、今回の課題を 1 つでも克服して今年度の駅伝の集大成となるようなレース結果を意識し、気持ちを切り替えて臨みます。

最後になりますが、早朝から沿道より熱いご声援を頂きました田中社長をはじめとする役員の皆様および会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力頂いた関係者の皆様に、チーム一同、あらためまして御礼申し上げます。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以 上

写真提供：新電元工業株式会社
坂本千夏様、佐藤圭一様